

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和7年12月10日
コラボいなぎ放課後等ディサービス							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	国の基本配置（3人）と、加算対象の職員を（1人）配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	自由遊びのエリアと設定活動のエリアを分けています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々の清掃は、徹底して実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さんの状況や希望に応じて、臨機応変に個別部屋を使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	事業所内の全体会議で報告し、検討しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		第三者評価を実施するための資金がない為、できていないのが現状です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎年2回開催される法人全体会議にて研修を実施し、参加しています。	非常勤職員の参加が難しい為、資料を配布しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	昨年度公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	利用児の中には、固定化された活動プログラムが安心できる方もいる為、新しい活動と同じ活動の組み合わせで行い、少しずつ活動の幅を広げています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和7年12月10日
コラボいなぎ放課後等ディサービス							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%			
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせずて支援を行っているか。	100%	0%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	買い物や外食、おやつの時間を通して、選択する活動を設定しています。また設定活動や外出先を選択する設定も取り入れています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	法人内の事業所間では、情報共有しています。それ以外は、ご家族から資料を提出していただき、共有しています。		
	30	学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	保護者のご希望があった際は、情報共有しています。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	町田市子どもセンターつるっこ（児童館）の利用や近隣の公園を利用し、自由に遊ぶ中で交流する機会を設けています。		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		年齢層が幅広く、将来の進路もそれぞれ違うため、研修内容を絞ることが難しい状況です。今後は、研修の情報を提供してまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			
	37	放課後等ディサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			
	38	「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和7年12月10日
コラボいなぎ放課後等ディサービス							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保 護 者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を年に1回開催しています。また今年度は初めて夏祭りを開催し、保護者同士やきょうだい同士で交流できる場を設けました。		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%			
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	外出活動がある日は、朝のミーティングで予想されるリスクを上げて周知して支援に入っています。また支援後振り返りを実施し、その日のインシデント・アクシデントを周知し、対応策を検討し、振り返り用紙に記入し、次週に繋がるようにしています。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎月の会議の中で、虐待防止の研修を実施しています。	会議に参加していない非常勤職員への周知を回覧ではなく、個々に資料を配布し、周知していきます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	100%	0%			